

**「第6回世界女子ソフトボール選手権大会開催記念大会 宇津木妙子杯」を開催します
～女子ソフトボール元日本代表監督の宇津木妙子氏を迎えて技術講習会も開催～**

千葉市では、2018年8月にZOZOマリンスタジアムを決勝会場にして行われた第16回世界女子ソフトボール選手権大会の開催を記念し、今年も市内中学校ソフトボール部の交流大会として、「第6回世界女子ソフトボール選手権大会開催記念大会 宇津木妙子杯」を開催しますので、お知らせします。

また、同時開催する技術講習会は、女子ソフトボール元日本代表監督の宇津木^{うつつぎ} 妙子^{たえこ}氏を講師にお迎えして開催しますので、併せてお知らせします。

1 実施経緯

「世界選手権大会のレガシーとしての大会」、「今後も中学生に夢を持ってソフトボールに取り組んでもらうきっかけとしての大会」、「外野フェンス・公認審判員・公式記録員・放送員をつけることにより、全国大会レベルの環境を整えた大会」として実施しており、今年で6回目となります。

2 日程

令和6年11月4日（月・休）9：00～16：00

9：00 開会式

9：30 宇津木氏による技術講習会

11：00 中学生5チームによるリーグ戦

3 場所

磯辺スポーツセンター グラウンド（美浜区磯辺1-50-1）

※雨天時は磯辺スポーツセンター体育館で講習会のみ実施します。

4 参加校（市立中学校9校5チーム）

①幸町第二中学校 ②蘇我中学校 ③高洲中学校

④天戸中学校・山王中学校・椿森中学校（合同）

⑤千城台西中学校・幕張西中学校・みつわ台中学校（合同）

5 主催・共催

主催 千葉県ソフトボール協会

共催 千葉市スポーツ協会、千葉市

6 取材について

取材を希望される場合は11月1日（金）正午までに、スポーツ振興課（電話245-5965）へご連絡ください。

<参考>

1 宇津木 妙子（うつぎ たえこ）氏プロフィール

1953年4月6日生まれ。

埼玉県川島町立川島中学校1年時からソフトボールを始める。高校卒業後、日本ソフトボールリーグ女子1部のユニチカ垂井に所属し、1974年世界選手権大会出場。

1985年に現役引退後、ジュニア日本代表コーチを経てソフトボールリーグの日立高崎の監督に就任、全日本総合選手権5回優勝、日本リーグ3回優勝。



宇津木 妙子 氏

【経歴】

- 1997年12月 日本代表監督に就任。
- 1998年 7月 世界選手権大会で銅メダル獲得。
- 2000年 8月 シドニーオリンピックで銀メダル獲得。彩の国功労賞受賞。
- 2004年 8月 アテネオリンピックで銅メダル獲得。
- 9月 日本代表監督退任。
- 2005年 国際ソフトボール連盟殿堂入り（日本人初）。
- 2010年 4月 東京国際大学の特命教授および同大学の女子ソフトボール部の総監督に就任。また、ルネサス高崎（現ビックカメラ女子ソフトボール高崎）シニアアドバイザーに就任。
- 2011年 6月 NPO法人ソフトボール・ドリームを設立し、理事長に就任。
- 2014年 5月 世界野球ソフトボール連盟理事に就任。
- 2020年 9月 一般社団法人日本女子ソフトボールリーグ機構副会長に就任。

2 第16回世界女子ソフトボール選手権大会について

予選を勝ち抜いた世界16の国と地域の代表チームが集結し、女子ソフトボール競技の世界一を争うもので、東京2020大会の出場国を決める予選も兼ねた大会として注目された。

千葉市ではZOZOマリンスタジアムを会場に2018年8月10日～12日に決勝トーナメントが行われ、日本チームは決勝でアメリカに惜しくも敗れ、準優勝だった。